

I. 次の楽譜はサン＝サーンス作曲、弦楽四重奏曲第1番 Op.115 の一部分である。下記の問い合わせに答えなさい。

1. ①～⑧の音程を答えなさい。また、①～④の転回音程になるように、下の楽譜の上方に全音符を書きなさい。
なお、転回音程については、複音程は単音程に直して答えること。(3点×8=24点)

〈音程〉

①	短10度 1オクターブと短3度	②	完全4度	③	短6度	④	長6度
⑤	減7度	⑥	完全5度	⑦	減4度	⑧	増4度

〈転回音程〉(3点×4=12点)

2. 次の(a)(b)で示される音階を、調号を用いて右の五線に主音から上行形で書きなさい。

旋律短音階は上行形と下行形の両方を書くこと。(3点×2=6点)

(a) ⑦を下属音とする旋律短音階

(b) ⑦を導音とする長音階

3. 次の(c)(d)で示される音階を、調号を用いて右の五線に主音から上行形で書きなさい。(2点×2=4点)

(c) ⑦を第III音とする和声短音階

(d) ⑦を導音とする長調の下属音を属音とする長音階

II. 次の楽曲について、下記の問い合わせに答えなさい。

1.(1)～(5)の和音について、種類と転回形を答えなさい。(2点×10=20点)

- | | | | |
|--------------|-----------|-------------|-----------|
| (1) 種類 長三和音 | 転回形 第2転回形 | (2) 種類 長三和音 | 転回形 第1転回形 |
| (3) 種類 属七の和音 | 転回形 基本形 | (4) 種類 短三和音 | 転回形 第1転回形 |
| (5) 種類 減七の和音 | 転回形 第2転回形 | | |

2. 次の文中の〔 〕に調名を、《 》には関係調の名称を、〔 〕には和音の種類を書き入れなさい
(短調は和声短音階とする)。(2点×5=10点)

- a. (1)を下属和音とする調の《 平行調 》はハ短調である。
- b. (2)を属和音とする短調の同主調の平行調は〔 へ短調 〕である。
- c. (3)と(4)を同時に含む調の下属和音は〔 短三和音 〕である。
- d. (4)をVIの和音とする調の属調の調号を下の五線に書きなさい。また、その調((4)をVIの和音とする調の属調)を平行調とする調は〔 変ホ短調 〕である。

III. 次の楽語の意味を右から1つずつ選び、その番号を書きなさい。(1点×6=6点)

meno mosso	7
nobilmente	3
pesante	11
vivace	5
ossia	2
mezza voce	10

- 意味:
- | | |
|-------------|-------------|
| 1. ～のように | 7. 今までより遅く |
| 2. あるいは | 8. 今までより速く |
| 3. 上品に | 9. 弱音器を使用して |
| 4. 牧歌風に | 10. 音量をおさえて |
| 5. 速く | 11. 重々しく |
| 6. 中ぐらいの速さで | 12. 悲しげに |

IV. 次の旋律ABの調名を答えなさい。また、楽曲Cは転調していきます。(い)～(に)の部分の調名をそれぞれ答えなさい。(3点×6=18点)

A

B

(い)

(ろ)

C

Allegro

(は)

(い)

A へ短調

B イ長調

C (い) 要ハ短調

(ろ) ホ長調

(は) ホ短調 (に) ト長調